

Release Identification: LTM9001
2008.02.04

リニアテクノロジー、新製品「LTM9001」を販売開始

RF とデジタル領域のギャップを埋める高性能 μ Module レシーバ・サブシステム

2008 年 2 月 4 日 - リニアテクノロジーは、画期的な μ Module™ パッケージング技術を活用した System in a Package (Sip) シグナルチェーン・レシーバ・サブシステム・ファミリの最初の製品となる「LTM9001」の販売を開始しました。LTM9001 は量産中で、1,000 個時の参考単価はいずれも 9,500 円(税込み)からで、リニアテクノロジー国内販売代理店各社経由で販売されます。また、デモンストレーション回路とサンプルは、www.linear-tech.co.jp/LTM9001 で入手可能です。

レシーバ・サブシステム・ファミリの新製品 LTM9001 は、RF とデジタル領域間のギャップを埋め、使いやすさの向上と顧客の製品市場投入までの時間短縮に貢献します。LTM9001 は、セミカスタム対応可能な IF/ベースバンド・レシーバ・サブシステムで、最大 160Mpsp でサンプリングを行う高性能 16 ビット ADC、アンチエリアシング・フィルタ、固定利得の差動 ADC ドライバを内蔵しています。LTM9001 は、何年にもわたるアプリケーション設計の経験を活かして、集積化と使いやすさの向上を図り、高性能を保証されており、多くの通信および計測アプリケーションにおいてシステム性能を向上させることができます。

RF アプリケーションにおいて高ダイナミックレンジ信号をサンプリングするには、アナログ/デジタル・コンバータのあらゆる機能を最大化するために幅広い経験が要求されます。インピーダンスの整合を図るには、アンプの出力段と ADC フロントエンドに関する深い知識が必要となり、敏感なアナログ入力へのデジタル出力の結合を最小限に抑えるには細心のレイアウトが必要です。ADC の性能低下の原因は、レイアウトの不具合に起因する場合があります。RF やデジタルの分野を専門とする設計者は、このような点を熟考しなければなりません。LTM9001 を使用することにより、設計者は部品選択、入力インピーダンスの整合、フィルタ設計、レイアウト作業に伴う負担から開放されます。すなわち、LTM9001 はデバイス自体でこれらの問題を解決しており、これにより、全体的な設計期間を短縮し、システムのトラブルシューティングを行い、最終的に市場投入時間を短縮します。

LTM9001 の優れた点は、セミカスタム対応にあります(対応には発注数量条件あり)。ピン互換の製品ファミリを使用することにより、LTM9001 は種々のサンプルレートに設定可能で、差動 ADC ドライバは 8dB ~ 26dB の固定利得バージョンに置き換えることができます。アンチエリアシング・フィルタはローパスまたはバンドパス構成が可能で、300MHz の高い入力周波数を使用できます。

リニアテクノロジー株式会社 www.linear-tech.co.jp

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 3-6 秀和紀尾井町パークビル 8F

メディアの方お問い合わせ先: リニアテクノロジー(株) マーケティング 高橋和渡 TEL 03-5226-7291 ktakahashi@linear.com

ミアキス・アソシエイツ 河西 TEL 0422-47-5319 linear-pr@miacis.com

記事掲載時お問合せ先: リニアテクノロジー(株) TEL 03-5226-7291 (代表) www.linear-tech.co.jp

LTM9001 は省スペースの 11.25mm×11.25mm LGA パッケージで供給され、敏感なアナログ・ラインをデジタル・トレースから保護するマルチレイヤ基板を利用しています。LGA パッドはパッケージの底面に配置されているので、入力信号とクロック信号はデジタル出力から分離され、設計者のためにレイアウトを簡素化します。バイパス容量はモジュール内部のダイの近くに配置され、従来のパッケージと比べて、スペース、コスト、特に性能の面で優れています。外付け容量が不要なので、ディスクリートで実現した場合の約半分のスペースに収まります。

LTM9001 の特長:

- 16 ビット高速 ADC、パッシブ・フィルタ、固定利得差動アンプを内蔵
- 最大 300MHz の IF 範囲
ローパスおよびバンドパス・フィルタ・バージョン
- 低ノイズ、低歪みアンプ
 - A. 固定利得: 8dB、14dB、20dB、26dB
 - B. 5.9dB の低いノイズ・フィギュア
 - C. 50 Ω、200 Ω または 400 Ω の入力インピーダンス
- 72dB の SNR、82dB の SFDR
- バイパス容量を内蔵、外付け部品不要
- オプションの内部ディザ
- オプションのデータ出力ランドマイザ
- LVDS または CMOS 出力
- 3.3V の単一電源
- 消費電力: 1.65W
- クロック・デューティ・スタビライザ
- 11.25mm×11.25mm LGA パッケージ

フォトキャプション: 16 ビット、130Msps ADC + μ Module™ レシーバ・サブシステムのドライブ

Copyright: 2008 Linear Technology

以上

リニアテクノロジー株式会社 www.linear-tech.co.jp

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 3-6 秀和紀尾井町パークビル 8F

メディアの方お問い合わせ先: リニアテクノロジー(株) マーケティング 高橋和渡 TEL 03-5226-7291 ktakahashi@linear.com

ミアキス・アソシエイツ 河西 TEL 0422-47-5319 linear-pr@miacis.com

記事掲載時お問合せ先: リニアテクノロジー(株) TEL 03-5226-7291 (代表) www.linear-tech.co.jp